

SPORT FOR TOMORROW 2014-2021

スポーツ・フォー・トゥモロー（SFT）は、スポーツを通じた国際交流・協力を通じて、開発途上国をはじめとする世界のあらゆる世代の人々にスポーツの価値やオリンピック・パラリンピック・ムーブメントを広げることをめざした取組として、2014年から2021年の8年間、官民連携のコンソーシアムを形成して活動を行い、204か国・地域における1300万人を超える人々とスポーツの価値を分かち合うことができました。

東京2020大会に向けて、「スポーツを通じた国際協力及び交流」「国際スポーツ人材育成拠点の構築」、「国際的なアンチ・ドーピング推進体制の強化支援」などに取り組んできました。

スポーツの普及、日本スポーツ文化の展開



ネパールにおけるグラウンド建設



日本の健康プログラムの展開

開発と平和のためのスポーツ



難民キャンプでの取組



タンザニアの女性スポーツ支援

スポーツ国際交流



剣道によるフィンランドとの交流



ラグビーによる被災地の国際交流

学校体育



タイでの教員研修ワークショップ



カンボジアでの体育科教育支援

国際競技レベルの向上



西が丘HPSC等を活用した取組



パラ参加国・地域拡大支援

国際人材育成拠点構築



国際スポーツアカデミーの開講

国際的アンチ・ドーピング推進体制支援



クリーンスポーツ環境の整備

これまでのSFTの詳細や実績はこちらから

SFTレガシーデータサイト <https://www.sftlegacy.jpnsport.go.jp/jp/>



SPORT FOR TOMORROW

スポーツを通じて、世界とつながる。
社会の課題に向き合う。

スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム会員募集中！

スポーツを通じた国際交流・協力に取り組んでいる、またはこれから実施したいという国内スポーツ関連団体や地方公共団体、民間企業、教育・研究機関、NGO/NPO等の皆様、一緒にSFTに取り組んでいきませんか？ 詳しくはウェブサイトやSNSをご覧ください。

sport4tomorrow.jpnsport.go.jp/jp/



@sport4tomorrow

@sport4tomorrow

@sport4tomorrow

**SPORT
FOR
TOMORROW**

【お問い合わせ先】
スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム事務局（独立行政法人日本スポーツ振興センター内）
電話 03-6804-2776 メール sft.info@jpnsport.go.jp

202504ver.

新しいSPORT FOR TOMORROW、始動。

持続可能な開発目標 (SDGs) や UNESCO のカザン行動計画 (2017) への貢献など、スポーツの力を活用して、持続可能な社会や共生社会の実現に向けた国際的な取組が進められており、日本はこのような国際的な動きをリードする立場から、さまざまなスポーツを通じた国際交流・協力に一層取り組むことが期待されています。

新たなフェーズに入ったスポーツ・フォー・トゥモロー (SFT) では、構築された官民協働体制やこれまでの取組を東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーとして継承し、引き続きスポーツを通じた国際協力による日本の存在感を示す取組を発展的に実施していくとともに、日本の強みを活かしたスポーツ分野の国際協力事業を通じて SDGs にも貢献していきます。

▼ SFT は新たなフェーズへ - 取組を発展・定着させる3つのアクション

- 1 SFT を通じて構築してきた各国・組織との信頼・交流関係を維持・強化します
- 2 コンソーシアム会員間の連携・共創を促進し、よりアクティブな団体を増やします
- 3 国内外を問わず、より多くの人々のスポーツを通じた国際交流・協力活動への参加を促します

▼ スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム

SFT は、「スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム (SFTC)」が活動を推進しています。

SFTC は、外務省やスポーツ庁を中心とした「運営委員会」と、SFT の趣旨に賛同しスポーツ国際交流・協力を携わる国内スポーツ関連団体や地方公共団体、民間企業、教育・研究機関、NGO/NPO などからなる「コンソーシアム会員」から構成されたネットワークです。

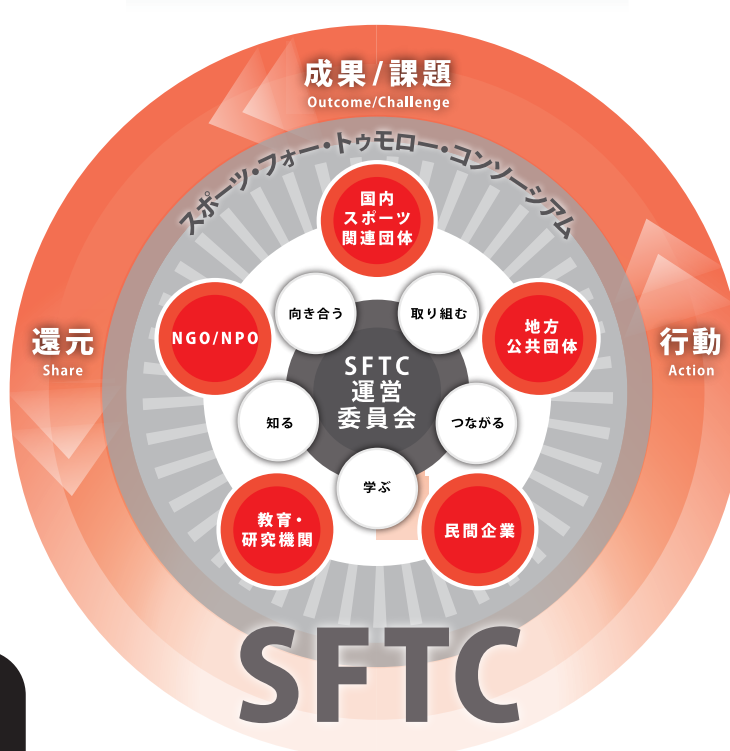
新たなフェーズの SFTC では、スポーツ国際交流・協力の活動や支援を実施・計画している団体 (正会員) に加え、スポーツ国際交流・協力に関心のある団体の皆様にも「準会員」として広くご参加いただけるようになりました。

コンソーシアムメンバーが保有している知見・ネットワークの共有や会員間の連携・共創を促進し、国内外にスポーツの価値を広げるとともに、スポーツを通じた SDGs 達成にも貢献することを目指しています。

コンソーシアム会員の活動が国内外に広く認知されるよう、SFT ブランドを活用した活動を実施するための事業認定や今後のモデルとなる取組の表彰なども行います。

スポーツを通じた社会課題の解決
世界における日本のプレゼンスの向上

国内外のフィールドで
スポーツを通じた国際交流・協力を推進



スポーツを通じて、世界とつながる。
社会の課題に向き合う。

▼ 変化を生み出す、SFTC の新たなプログラム&サービス

SFTC では、コンソーシアム会員が国内外のスポーツや社会におけるニーズや課題に向き合いながら、その解決に繋がる効果的な活動の実践や事業改善に取り組めるよう、さまざまなプログラムやサービスを通して、より良い成果創出を支援します。詳細や最新情報は SFT ウェブサイトや SNS (裏面参照) をご確認ください。

SNS や会員限定メールマガジンなどを通して、スポーツを通じた国際交流・協力に関する情報をワンストップで入手できます

知る

学ぶ

国際動向や課題・ニーズを踏まえたセミナーやワークショップ、カンファレンスでは、活動に必要な情報や知見を提供します

向き合う

つながる

取り組む

適切な活動計画やモニタリング・評価などに関する国際的なガイドラインや専門家によるアドバイスにアクセスできます

新たな活動を行う上での課題・ニーズの共有、資源の調達、官民連携による機会・コラボレーションの創出を支援します

スポーツと SDGs

スポーツは、開発と平和の目標達成に向けて前進するための効果的で柔軟なツールであり、国連においても、SDGs の達成に向けた課題に取り組む潜在的能力を備えた重要かつ強力なツールとして、スポーツが果たす役割が明示されています。



これに注目!

SDGs 達成に向けた
スポーツの活用ガイドブックが
オンラインで無料公開中
(情報提供: 日本スポーツ振興センター)

日本スポーツ振興センター (JSC) とスイスの団体 (Swiss Academy for Development) が共同で開発したガイドブックは 112 カ国以上で利用されています。日本語版もオンラインで公開されています。

<https://www.iir.jpnsport.go.jp/jp/sdgs/>



カザン行動計画

カザン行動計画 (Kazan Action Plan) は、2017 年に開催された第 6 回国際連合教育科学文化機関 (UNESCO) 体育・スポーツ担当大臣等国際会議 (MINEPS VI) にて採択された提言です。3 つの主要政策と 5 つの実行枠組みが示されました。

3 つの主要政策

1. 万人のためのスポーツへのアクセスに関する包括的な構想の展開
2. 持続可能な開発と平和に向けたスポーツの貢献の最大化
3. スポーツ・インテグリティの保護

5 つの実行枠組み

1. 体育・身体活動・スポーツにおける投資について証拠に基づいた議論を提示するための啓発ツールの制作
2. 体育、身体活動及びスポーツが持続可能な開発目標 (SDGs) 及びターゲットへのスポーツの貢献を測定するための共通指標の開発
3. スポーツ・インテグリティの分野におけるスポーツ大臣の介入による包括的な一連の国際指針の策定 (スポーツにおけるドーピング防止の国際規約との関係)
4. 女性・スポーツ・体育・身体活動のための国際モニタリング機関の設置に関する実現可能性の研究の実施
5. MINEPS VI において策定されたスポーツ政策フォローアップ枠組みのための情報共有ツール開発

※スポーツ庁「スポーツ国際戦略」(2018) を参考に SFTC 事務局作成

SFTC 運営委員会

